

山形大学

蔵王協議会だより

第3号

平成16年度 山形大学医学部卒後臨床研修

卒後臨床研修センター長 倉智博久

- ▶資料1 平成16年度卒後臨床研修プログラム・1年次
- ▶資料2 大学病院のマッチ状況
- ▶資料3 研修医マッチングの結果(参加病院の所在地による全国分布)
- ▶資料4 研修プログラムの実際
- ▶資料5 卒後臨床研修プログラム・2年次

山形大学医学部卒

研修医の皆さんがメリットを享受できる
プログラムを

卒後臨床研修センター長

倉智 博久

いよいよ今年から卒後臨床研修が必修化されますが、昨年の大きな課題の1つはマッチングでした。山形大学でも7月に2回、8月に1回計3回マッチングに向けての口頭試問による試験を行ない、本学6年生の学生81名と他学から2名が受験しました。一方、学生の側でもいくつかの研修病院や大学を見学し、自分自身が希望する研修施設をリストアップして、9月のマッチングに望みました。11月13日オンラインでマッチング結果が発表され、山形大学の研修プログラムには上記の試験受験者のうち27人がマッチし、その後1人の既卒者が山形大学卒後研修プログラムに参加しましたので、合計28名の研修予定者となりました。なお、4月22日国試発表後の山形大学における研修医は24人となりました（資料1）。研修希望者も研修施設もともにマッチングの結果には必ず従わなければなりません。マッチング結果発表後にアンマッチとなった場合はお互いにフリーとなり、我々も自由に研修希望者を募ることができます。マッチング結果発表後も研修希望者を募集しましたが、これには応募者はありませんでした。全国的にもマッチ率は95.6%と高く、アンマッチとなった研修予定者は全国でわずか353人でしたから、研修希望者はほぼマッチングで決定されたわけです。

東北地方の医学部附属病院の研修予定者は、ほぼ横並びでした（資料2）。しかしながら、山形県全体の研修予定者数は43名で、平成15年度の県内研修医数56名より13名減少しています（資料3）。東北地方の他の県をみますと、岩手県の34人増加を筆頭としていずれの県でも研修医数は増加しています。上記のとおり、大学病院の研修医数は大きな違いはなく、本学の28名は、秋田大学とともに最も多い研修医数ですので、山形県全体と

しての研修医の減少は、研修病院での研修医の確保に問題があったものと考えられます。この点については、県の行政、山形大学と山形県内の研修病院いずれにも反省すべき点があったものと考えられます。大学側の問題点の1つとして、山形大学の卒後研修のプログラムに見直しすべき点があるかと思われ。現在のプログラム（資料4）は、1種類のみで2年目の4つの必修研修科をそれぞれ最短の1か月ずつとして、研修医が将来を見越して希望科を選択できるという自由度を持たせた点が特徴です。大学での研修希望者は将来の入局を意識する人が多く、したがって希望科を設置することが有意義であろうと考えたプログラムでした。しかし、大学病院での研修を希望する学生の中にも将来の入局については全く白紙でいたいという者ももちろんいます。今年の山形大学附属病院の研修希望者は将来の医局を意識している学生が多いことは事実ですが、多様な希望に応じるべく複数のプログラムを用意すべきであったと反省し、入局については全く白紙でいたいという希望に応えるべく、選択の余地をなくしたプログラムを用意しました（資料5、B）。さらに、大学病院のプログラムを選択しても、2年間のうち1年は研修協力病院での研修を希望する学生も多いことを考慮して、2年目は必修研修を含めすべて関連病院で研修するプログラムも用意しました（資料5、C）。近々に、現在相乗りのプログラムのない県立中央病院や市立病院済生館とも共同のプログラムを作って、研修医の皆さんが両方のメリットを享受できるプログラムを作りたいと考えています。

研修センターでは、山形大学の研修医には少しでも良い処遇と研修医室（卒後研修センター）を含めより良い研修環境を整備していきたいと考えています。

後臨床研修

山形大学蔵王協議会だより

第3号

資料1 平成16年度卒後臨床研修プログラム・1年次

	氏名	16.5.6～7.24 (12週)		7.25～10.16 (12週)		10.17～17.1.8 (12週)		1.9～3.31 (12週)	
		5.6～6.26 (8週)	6.27～8.21 (8週)	8.22～10.16 (8週)	10.17～11.27 (6週)	11.28～1.8 (6週)	1.9～2.19 (6週)	2.20～3.31 (6週)	
1	伊藤由理子	第一内科	第三内科	第二内科	第一外科	第二外科	救急部	麻酔科	
2	枝松秀尚	第一内科	第三内科	第二内科	第一外科	第二外科	救急部	麻酔科	
3	沖津智子	第一内科	第三内科	第二内科	第一外科	第二外科	救急部	麻酔科	
4	岸宏幸	第一内科	第三内科	第二内科	第二外科	第一外科	麻酔科	救急部	
5	佐藤道子	第二内科	第一内科	第三内科	第二外科	第一外科	麻酔科	救急部	
6	目黒亨	第二内科	第一内科	第三内科	第二外科	第一外科	麻酔科	救急部	
7	屋祥時典	第二内科	第一内科	第三内科	救急部	麻酔科	第一外科	第二外科	
8	遠藤昭博	第二内科	第一内科	第三内科	救急部	麻酔科	第一外科	第二外科	
9	柿崎泰明	第三内科	第二内科	第一内科	救急部	麻酔科	第一外科	第二外科	
10	加藤秀輝	第三内科	第二内科	第一内科	麻酔科	救急部	第二外科	第一外科	
11	田邊祐資	第三内科	第二内科	第一内科	麻酔科	救急部	第二外科	第一外科	
12	西脇勇人	第三内科	第二内科	第一内科	麻酔科	救急部	第二外科	第一外科	
13	鈴木智人	第一外科	第二外科	救急部	麻酔科	第一内科	第三内科	第二内科	
14	中野早紀子	第一外科	第二外科	救急部	麻酔科	第一内科	第三内科	第二内科	
15	前川憲之	第一外科	第二外科	救急部	麻酔科	第一内科	第三内科	第二内科	
16	松田憲一朗	第二外科	第一外科	麻酔科	救急部	第一内科	第三内科	第二内科	
17	皆川忠徳	第二外科	第一外科	麻酔科	救急部	第二内科	第一内科	第三内科	
18	和根崎史子	第二外科	第一外科	麻酔科	救急部	第二内科	第一内科	第三内科	
19	池谷龍一	救急部	麻酔科	第一外科	第二外科	第二内科	第一内科	第三内科	
21	大瀧恵	救急部	麻酔科	第一外科	第二外科	第二内科	第一内科	第三内科	
20	奥平志野	救急部	麻酔科	第一外科	第二外科	第三内科	第二内科	第一内科	
22	鈴木志恒	麻酔科	救急部	第二外科	第一外科	第三内科	第二内科	第一内科	
23	大通尚	麻酔科	救急部	第二外科	第一外科	第三内科	第二内科	第一内科	
24	渡會文果	麻酔科	救急部	第二外科	第一外科	第三内科	第二内科	第一内科	
		5.6～6.12 (6週)	6.13～7.24 (6週)	7.25～9.4 (6週)	9.4～10.16 (6週)	10.17～12.11 (8週)	12.12～2.5 (8週)	2.6～3.31 (8週)	

卒後臨床研修センターでは、医学部長と病院長の指導のもとで、三橋副センター長をはじめとする教官会の先生方や、卒後臨床研修センター運営委員会の先生方のご

協力で臨床研修センターとして鋭意準備を進めてきました。教官会と運営委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。

資料2 大学病院のマッチ状況

大学名	定員	マッチ者	欠員	大学名	定員	マッチ者	欠員
北海道大学	115	115	0	宮崎大学	60	38	22
順天堂大学	60	60	0	藤田保健衛生大学	70	48	22
東京大学	130	130	0	筑波大学	100	78	22
東邦大学	34	34	0	弘前大学	47	24	23
帝京大学	55	55	0	山形大学	50	27	23
東海大学	72	72	0	福井大学	48	24	24
神戸大学	80	80	0	岩手医科大学	50	26	24
兵庫医科大学	60	60	0	獨協医科大学	80	56	24
久留米大学	108	108	0	長崎大学	90	66	24
福岡大学	63	63	0	島根大学	51	26	25
鹿児島大学	99	99	0	香川大学	54	29	25
鳥取大学	43	42	1	大分大学	61	36	25
金沢医科大学	58	55	3	愛知医科大学	64	39	25
佐賀大学	56	52	4	和歌山県立医科大学	66	41	25
日本医科大学	60	56	4	自治医科大学	72	47	25
横浜市立大学	48	43	5	京都府立医科大学	120	95	25
杏林大学	75	70	5	山梨大学	60	34	26
日本大学	90	85	5	旭川医科大学	64	38	26
大阪医科大学	65	59	6	東北大学	40	13	27
東京慈恵会医科大学	50	42	8	埼玉医科大学	70	43	27
聖マリアンナ医科大学	90	82	8	奈良県立医科大学	70	43	27
名古屋大学	24	14	10	群馬大学	88	61	27
愛媛大学	62	52	10	大阪大学	75	47	28
熊本大学	96	86	10	岡山大学	53	20	33
高知大学	37	26	11	千葉大学	106	73	33
広島大学	56	45	11	秋田大学	66	28	38
産業医科大学	40	28	12	金沢大学	92	54	38
北里大学	100	87	13	札幌医科大学	111	73	38
琉球大学	48	33	15	三重大学	50	10	40
関西医科大学	70	54	16	名古屋市立大学	114	74	40
浜松医科大学	80	64	16	九州大学	162	121	41
山口大学	83	66	17	信州大学	90	48	42
滋賀医科大学	53	35	18	福島県立医科大学	70	27	43
徳島大学	64	45	19	京都大学	110	65	45
川崎医科大学	73	54	19	昭和大学	100	53	47
東京女子医科大学	106	87	19	新潟大学	94	43	51
富山医科薬科大学	62	42	20	近畿大学	100	46	54
大阪市立大学	100	80	20	岐阜大学	74	8	66
東京医科歯科大学	106	87	21				

資料3 研修医マッチングの結果（参加病院の所在地による全国分布）

都道府県	募集定員	マッチ者数①	空席数	平成15年度 採用実績②	増減 ①-②
北海道	518	315	203	288	27
青森県	95	60	35	56	4
岩手県	112	72	40	38	34
宮城県	165	108	57	88	20
秋田県	132	68	64	61	7
山形県	91	43	48	56	△13
福島県	155	82	73	79	3
茨城県	153	94	59	85	9
栃木県	184	114	70	119	△5
群馬県	133	86	47	119	△33
埼玉県	257	165	92	118	47
千葉県	391	268	123	268	0
東京都	1,482	1,261	221	1,707	△446
神奈川県	644	557	87	404	153
新潟県	152	100	52	89	11
富山県	92	57	35	59	△2
石川県	169	116	53	95	21
福井県	57	32	25	48	△16
山梨県	71	41	30	54	△13
長野県	163	100	63	104	△4
岐阜県	212	85	127	116	△31
静岡県	232	147	85	109	38
愛知県	671	476	195	436	40
三重県	139	67	72	77	△10
滋賀県	105	69	36	83	△14
京都府	360	264	96	411	△147
大阪府	868	633	235	689	△56
兵庫県	356	297	59	310	△13
奈良県	135	93	42	101	△8
和歌山県	103	57	46	68	△11
鳥取県	70	58	12	51	7
島根県	88	51	37	30	21
岡山県	230	158	72	146	12
広島県	187	134	53	181	△47
山口県	134	78	56	93	△15
徳島県	90	65	25	68	△3
香川県	108	55	53	50	5
愛媛県	100	81	19	65	16
高知県	74	45	29	47	△2
福岡県	599	508	91	546	△38
佐賀県	73	60	13	58	2
長崎県	138	89	49	105	△16
熊本県	123	99	24	115	△16
大分県	77	41	36	54	△13
宮崎県	70	47	23	50	△3
鹿児島県	153	121	32	91	30
沖縄県	159	139	20	81	58
	10,870	7,756	3,114	8,166	△410

資料4 研修プログラムの実際

1 研修の実際

1年目（基本研修科）			2年（必修科等）					
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
内科	外科	救急部 麻酔科	小児科	精神科 神経科	産科 婦人科	地域保 健医療	希望科	研修協力病院
6か月	3か月	3か月	1か月	1か月	1か月	1か月	2か月	6か月

(1) ①～⑧は原則として大学病院で行う。研修協力病院で行うことも可能であるが、その場合は、大学病院での研修を8か月以上とする。

(2) ⑦は、病院、保健所、診療所、社会福祉施設、介護老人保健施設、へき地・離島診療所等の中から選択し、センターが調整する。この場合、研修医の身分は大学病院に置く。

(3) ①～③及び④～⑧の中での順序は、研修医の希望によりセンターが調整する。

(4) 2年目は研修医の希望とセンターの調整により、④～⑧の修了後に⑨を研修する者と⑨の修了後に④～⑧を研修する者に振り分ける。

(5) 研修医の希望とセンターの調整により、①は第一内科、第二内科、第三内科で、②は第一外科、第二外科で研修を行う。

2 プログラム責任者：センター長 倉智博久

3 研修協力病院は次のとおりとする。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| ① 国立療養所山形病院 | ② 山形県立河北病院 | ③ 山形県立新庄病院 |
| ④ 公立置賜総合病院 | ⑤ 鶴岡市立荘内病院 | ⑥ 市立酒田病院 |
| ⑦ 寒河江市立病院 | ⑧ 山形済生病院 | ⑨ 東北中央病院 |
| ⑩ 三友堂病院 | ⑪ 篠田総合病院 | ⑫ みゆき会病院 |
| ⑬ 鶴岡協立病院 | ⑭ 山形県立鶴岡病院 | ⑮ 秋野病院 |
| ⑯ 千歳篠田病院 | ⑰ 二本松会山形病院 | ⑱ 公立高島病院 |
| ⑲ 白鷹町立病院 | ⑳ 小国町立病院 | |

4 地域保健医療に係る研修協力施設は次のとおりとする。

- | | | |
|----------------|--------------------|----------------|
| ① 山形県村山保健所 | ② 介護老人保健施設 サンブラザ米沢 | ③ 老人保健施設 のぞみの園 |
| ④ 山形県結核成人病予防協会 | ⑤ 山形県赤十字血液センター | ⑥ 朝日町立病院 |
| ⑦ 金山町立病院 | ⑧ 町立真室川病院 | ⑨ 最上町立最上病院 |

5 研修協力病院・研修協力施設への連絡

研修開始予定日の3か月前までに、センターから当該病院へ連絡するものとする。

資料5 卒後臨床研修プログラム2年次

プログラムA（大学病院必修科・希望科6か月＋協力病院6か月研修コース）

順不同					希望科（協力病院）
小児	精神	産婦	地域医療	希望科（大学）	
1か月	1か月	1か月	1か月	2か月	6か月

- 前半（6か月）を大学病院で必修科・希望科を研修し、後半（6か月）を協力病院で研修する。（前半と後半の入れ替えも可能）

プログラムB（大学病院必修科1年研修コース）

順不同			
小児	精神	産婦	地域医療
3か月	3か月	3か月	3か月

- 将来の専門科が特に決まっていない方のためのプログラムで、必修科を重点的に大学病院で研修する。

プログラムC（協力病院必修科・希望科1年研修コース）

順不同
小児・精神・産婦・地域医療・希望科（協力病院）

- 1年間で必修科（各々最低1か月）及び希望科を協力病院で研修する。

山形大学蔵王協議会会則

- (名称)
第1条 本会を山形大学蔵王協議会と称する。
(目的)
第2条 本会は、会員相互の緊密な連携と協力により山形大学並びに関連医療施設の医学・医療の充実と発展を図り、人材養成と地域医療の向上に寄与することを目的とする。
(事業)
第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1)卒後臨床研修体制の整備等に関すること。
(2)関連医療施設との連携に関すること。
(3)その他、前条の目的を達成するために必要な事業
(会員)
第4条 本会の会員は、山形大学医学部教授会、山形大学関連病院会及び山形大学医学部教室員会の構成員より成る。
(事務局)
第5条 本会の事務局を山形大学医学部教室員会内に置く。
(役員)
第6条 本会に次の役員を置く。
(1)会長 1名
(2)副会長 2名
(3)運営委員 7名
(4)監事 2名
(5)事務局代表 2名
(6)会計 2名
(職務・選任)
第7条 会長は会を代表し、会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。会長及び副会長は、前条第3号から第6号までの役員及び第10条の委員を選任する。
2 原則として、会長は山形大学医学部長が、副会長は山形大学医学部附属病院院長及び山形大学関連病院会会長がその任に就く。
3 運営委員は、医学部教授会構成員3名、関連病院会構成員3名とし、教室員会会長を加える。
4 監事は、医学部教授会構成員1名、関連病院会構成員1名とする。
5 事務局代表は、原則として医学部教授会構成員1名、教室員会副会長1名とする。
6 会計は、医学部教授会構成員1名、教室員会書記長とする。
(任期)
第8条 役員任期は1年とし、再任を妨げない。
(運営委員会)
第9条 本会の運営等を円滑に行うため、運営委員会を置く。運営委員会は、第6条の役員と次条の各部会の部長3名によって構成する。
2 運営委員会は、総会議案の協議、部会への事業の委任、調整等をはじめ会の実質的な運営に当たる。急を要する事項については総会に代わって協議処理できるものとする。
(部会)

第10条 本会の目的達成のため次の部会を置く。

- (1)関連医療施設部会
(2)研修部会
(3)企画・広報部会
2 各部会の委員は、会長が副会長と合議の上、指名するものとする。
3 各部会の部長及び副会長は委員の互選によって選出する。
4 各部会の部長、副部長及び委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
5 委員の構成については別に定める。
(総会)

第11条 総会は原則として年1回会長が招集する。会長はほかに必要ある場合、運営委員会に諮り臨時の総会を招集することができる。

- 2 総会は、第4条の会員の出席により成立し、本会の目的を達成するための協議機関とする。
3 総会の議題は運営委員会で協議し、総会前に会員に通知する。
4 総会の議長は会員の中から互選された者とする。
(会計)

第12条 本会の運営に必要な経費は、会費及びその他の収入をもってこれに当てる。

- 2 会費については別に定める。
3 運営委員会は、年度毎の予算決算について総会に報告し承認を受けるものとする。
(会則の変更)

第13条 会則の変更は、運営委員会の議を経た後、総会出席者の過半数の賛成を得て行うものとする。

- 附則
この会則は、平成14年8月8日から施行する。
附則
この改正会則は、平成15年3月29日から施行する。

山形大学蔵王協議会部会規程

(趣旨)

第1条 山形大学蔵王協議会会則第11条第5項の規定に基づき、部会の構成を定める。
2 会長が必要と認めるときは、構成員以外の者を委員に加えることができる。

(関連医療施設部会)
第2条 関連医療施設部会は、山形大学からの医師派遣等について協議し、次の委員をもって構成する。

- (1)医学部教授会構成員 3名
(2)関連病院会構成員 3名
(3)医学部教室員会構成員 1名
(4)初期研修医 2名
(研修部会)

第3条 研修部会は、初期2年間の研修体制等について協議し、次の委員をもって構成する。

- (1)医学部教授会構成員 3名
(2)関連病院会構成員 4名
(3)医学部教室員会構成員 1名
(4)医学部学生 5名
(企画・広報部会)

第4条 企画・広報部会は、山形大学蔵王協

議会が実施する事業の企画、広報等について協議し、次の委員をもって構成する。

- (1)医学部教授会構成員 3名
(2)関連病院会構成員 3名
(3)医学部教室員会構成員 1名
(4)初期研修医 2名
(5)医学部学生 3名

附則
この会則は、平成14年8月8日から施行する。
附則

この改正会則は、平成15年3月29日から施行する。

山形大学蔵王協議会会費規程

第1条 山形大学蔵王協議会会則第12条第2項の規定に基づき、各構成員の年会費を次のとおり定める。

- (1)山形大学医学部教授会 100,000円
(2)関連病院会 17,500円に
加盟病院数を乗じた額
(3)山形大学医学部教室員会 200,000円

附則
この会則は、平成14年8月8日から施行する。

山形大学関連病院会会則

(構成・名称)
第1条 本会は、山形大学に関連する医療施設を会員として構成し、山形大学関連病院会と称する。

(目的)
第2条 本会は、会員相互の親睦、研修を図るとともに、山形大学蔵王協議会と密接な連携を取りながら卒後臨床研修及び地域医療の充実に寄与することを目的とする。

第3条 本会は、山形大学蔵王協議会に加盟するものとする。
(事務所)

第4条 本会は、事務所を山形大学蔵王協議会事務局内に置く。

(役員)
第5条 本会に次の役員を置く。
(1)会長 1名
(2)副会長 1又は2名
(3)評議員 若干名
(4)監事 2名

2 会長は、総会で会員の中から選出する。
3 副会長及び評議員は、会員の中から会長が委嘱する。
4 監事は、総会で選出する。

5 役員任期は2年とし、再任を妨げない。
(総会)

第6条 総会は、定例総会及び臨時総会とする。
2 定例総会は、年1回会長が招集する。
3 臨時総会は、必要に応じて会長が招集する。
(経費)

第7条 本会の運営に要する費用は、会費及びその他の収入をもって充てる。
2 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附則
この会則は、平成14年8月8日から施行する。

山形大学関連病院会加盟病院一覧

No.	病院名	病院長名	No.	病院名	病院長名
国立 1	国立病院機構山形病院	圓谷 建治	40	二本松会山形病院	横川 弘明
国立 2	国立病院機構米沢病院	宮澤 幸仁	41	舟山病院	舟山 尚
県立 3	山形県立河北病院	片桐 忠	42	みゆき会病院	太田 吉雄
県立 4	山形県立総合療育訓練センター	井田 英雄	43	山形済生病院	浜崎 允
県立 5	山形県立新庄病院	中嶋 凱夫	44	山形つくしが丘病院	藤井 昌彦
県立 6	山形県立鶴岡病院	難岡 壽英	45	横山病院	横山 幸生
県立 7	山形県立中央病院	齋藤 幹郎	46	吉岡病院	吉岡 信弥
県立 8	山形県立日本海病院	亀山 仁一	47	若宮病院	鈴木 庸史
市立 9	市立酒日病院	栗谷 義樹	48	明石医院	伊藤 義彦
市立 10	寒河江市立病院	間中 英大	49	大島医院	大島 扶美
市立 11	鶴岡市立荘内病院	松原 要一	50	電興診療所	菊池 謙次
市立 12	天童市立天童病院	松本 修	51	木根測医院	木根測清志
市立 13	山形市立病院済生館	峯田 武興	52	国井産婦人科医院	国井 勝昭
市立 14	米沢市立病院	芦川 祐	53	健生ふれあいクリニック	本間 卓
町立 15	朝口町立病院	小林 達	54	原田香曾我部医院	香曾我部謙志
町立 16	小国町立病院	阿部 吉弘	55	東海林皮膚科医院	東海林真司
町立 17	金山町立病院	伊藤 淳一	56	白田医院	白田 一誠
町立 18	日鷹町立病院	高橋 一三	57	鈴木内科医院(楯岡)	鈴木 東洋
町立 19	公立高島病院	大本英次郎	58	長岡医院	長岡 迪生
町立 20	西川町立病院	山ノ内南珍	59	鈴木内科医院(南陽)	鈴木 祐治
町立 21	町立真室川病院	室岡久爾夫	60	医療法人山形泌尿器科	安達 雅史
町立 22	最上町立最上病院	辻藤 俊浩	61	矢吹病院	政金 生人
町立 23	町立八幡病院	土井 和博	62	岩手県立千厩病院	菅野 千治
公立 24	公立置賜総合病院	山口 昂一	63	岩手県立花巻厚生病院	高橋 司
県内 25	秋野病院	木下 修身	64	石巻赤十字病院	佐々木 康彦
県内 26	尾花沢病院	渋谷 機夫	65	泉整形外科病院	根本 忠信
県内 27	八原病院	小原 正久	66	仙台社会保険病院	三友 紀男
県内 28	小白川至誠堂病院	大江 正敏	67	仙台徳洲会病院	佐藤 清春
県内 29	佐藤病院	佐藤 忠宏	68	みやぎ県南中核病院	高橋 涉
県内 30	三友堂病院	仁科 盛之	69	会津西病院	小松 結
県内 31	三友堂リハビリセンタ	川上 千之	70	渚又病院	萬谷 嘉明
県内 32	至誠総合病院	松澤 信吾	71	太田西の内病院	太田 保世
県内 33	篠田総合病院	篠田 昭男	72	奥羽総合病院	窪田 幸男
県内 34	新庄明和病院	佐藤 明	73	坪井病院	羽生 忠義
県内 35	千歳篠田病院	吉田 邦夫	74	鳴瀬病院	鳴瀬 寛爾
県内 36	天童温泉篠田病院	篠田 敏男	75	栢記念病院	栢 明彦
県内 37	鶴岡協立病院	佐藤 満男	76	池田脳神経外科病院	池田俊一郎
県内 38	東北中央病院	堀川 秀男	77	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	堀江 俊伸
県内 39	二本松会上山病院	小山 隆信	78	埼玉協同病院	肥田 泰
県外 40			79	木戸病院	濱 齊
県外 41			80	立川総合病院	上原 徹

山形大学蔵王協議会役員一覧

役職名	教授会	関連病院会	教室員会
会長	医学部長 嘉山 孝正		
副会長	附属病院長 山下 英俊	済生館 峯田 武興	
運営委員	放射線科 細矢 貴亮 第一外科 木村 理 耳鼻咽喉科 青柳 優	県立河北 片桐 忠 県立日本海 亀山 仁一 米沢市立 芦川 祐一	会長 富程 整
監事	整形外科 荻野 利彦	東北中央 堀川 秀男	
事務局代表	公衆衛生 深尾 彰	(医学部総務課)	副会長 布施 明
会計	歯科口腔 吉澤 信夫		書記長 大泉 弘幸

部会名	教授会	関連病院会	教室員会	その他の機関
臨床医務 研究部会	第一内科 久保田 功 小児科 早坂 清 ③麻酔科 小谷 南将	C県立中央 齋藤 幹郎 済生館 峯田 武興 山形済生 浜崎 允	管理運営部長 木村 青史	山形県健康福祉部長 佐藤 洋樹 山形県保健課長 青山 永策
研究部会	第三内科 加藤 丈夫 精神内科 大谷 浩一 ③産婦人科 倉智 博久	C国病山形 圓谷 建治 県立新庄 中嶋 凱夫 県立荘内 松原 要一 三友堂 仁科 盛之	教育問題部長 齋藤伸二郎	(平成11年入) 高橋 聡 小野沢麻子
企画・ 広報部会	③第二内科 河田 純男 検査部 富永 真琴 救急部 川前 金幸	国病米沢 宮澤 幸仁 C市立酒日 栗谷 義樹 篠田総合 篠田 明男	広報部長 竹石 未知	

編集責任者 川前金幸 (救急医学講座)

(注: ③印は部長、④印は副部長)